

## カラマツ林を活用したハナイグチの増殖

### 1 研究のねらい

森林に発生する食用きのこの中で、古くから大衆向きのきのこのこととして人気が高く、カラマツ林に発生する代表的なきのこ「ハナイグチ」（イグチ科）の増殖技術を開発する。

### 2 研究方法

林内の環境整備による増殖技術を検討するため、平成8年6月、四日市試験地（岩手町）内において、ハナイグチ数個の発生が見られたカラマツ林内（13年生）に試験地を設定した。

試験区（各90㎡）は、次の3とおりである。

### 3 結果

ハナイグチ発生量は、図に示したとおり林内の下草等を刈払うことによって増産に結びつくが、落葉層の掘起こしは不必要なことが明らかになった。

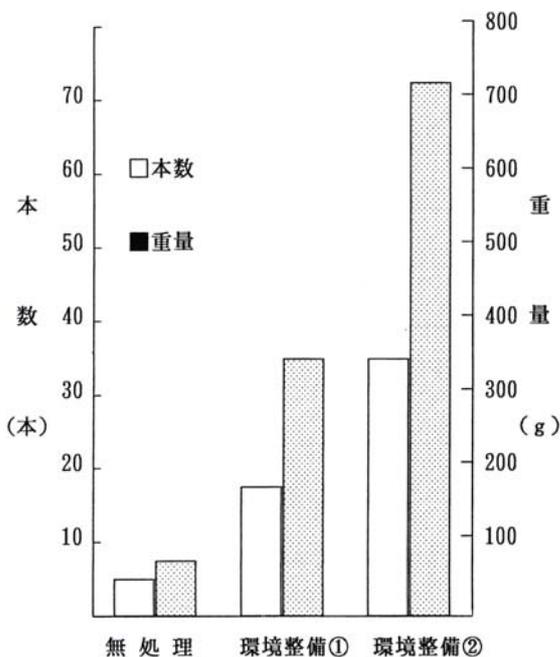


図 ハナイグチの発生量（H8、9年度合計）

この理由としては、地表の温度が上昇することにより、ハナイグチ菌の寄生可能なカラマツ細根が増えたことや菌糸の成長が促進されたことなどが考えられる。

また、今回の試験から、発生の時期は9月下旬から11月上旬頃までで、比較的乾燥にも強いことがわかった。

### 4 成果の活用

今回の結果から、林内の環境整備によって増産が可能となった。

このことから、カラマツ林の育成を図りながら、林地を立体的に活用したハナイグチの栽培によって、地域の活性化に結び付けたい。



試験地



発生したハナイグチ

（担当 特用林産部 上席専門研究員 大森 久夫）

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11  
岩手県林業技術センター  
ホームページアドレス

TEL 019-697-1536  
FAX 019-697-1410

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>